**ロータリー**

**談　話　室**

タイトル（明朝12pt）

本文（明朝8pt，1200～2400字）．本テンプレートの青字部分に上書きし，最後に文字色をすべて黒に変換して下さい．原則として受理された原稿に基づいて組版いたします．原稿を作成するにあたり，フォントの 上付き・下付き，Italic，Boldなどのスタイルの指定は確実に行って下さい．

本欄の内容と執筆上の注意点は以下のとおりです．

【内容】分析化学，分析方法・技術，本会事業（会誌，各種会合など）に関する提案，意見，質問などを自由な立場で記述したもの．

【執筆上の注意】図・文献は，原則として使用しない．表は，必要最小限にとどめる．

以下，「執筆要領」の“原稿の書き方”(p.3～6) より，本欄に関係する部分を抜粋して記します．

1 題 名

記事の内容を的確に示したものとし，依頼時の題名と大幅な変更のないようにする．また，普通名詞化したものを除き，原則として商品名及び略号を用いない．

2 本 文

2·1 原稿は，原則としてテンプレートを用いて作成する．

2·2 文章は，原則として平仮名書き，平易で簡潔な文章体（「である」式）とし，常用漢字と現代仮名遣いとを用いる．

2·3 大見出し，中見出し，小見出しなどは，1, 2, ... , 1·1, 1·2, ... , 1·1·1, 1·1·2, ... , (1), (2), ... , (a), (b), ... などとし，大見出し，中見出しの前は 1 行あける．

2·4 句読点，括弧は，1 字に数え，原稿の書き始め及び行を改めたときの書き始めは，1 字あける．なお，句読点には「．」「，」を用いる．

2·5 英数文字およびギリシャ文字は半角とする．

2·6 外国の人名，会社名などは，原則としてローマ字つづりで書き，周知の術語となっている人名などは片仮名書きとする．また，欧米語は，原則としてすべて小文字とする．ただし，固有名詞は大文字で書き始め，学名はイタリック体とする．

2·7 特殊な文字，書体，記号はできるだけ避ける．また，添字の添字は特別な理由のない限り避ける．

2·8 略号は，最初に出てくる箇所で正式名称の後に ( ) に入れた略号を付記する．

2·9 脚注は，原則として用いず括弧を用いて本文中に書く．やむを得ず用いる場合は，本文中その項目の右肩に \*1 \*2 を付け，そのページの下段に書く．

2·10 引用文献がある場合は，本文中その項目の右肩に 1) 2) のように，通し番号を付け，本文の最後に文献欄を設けまとめて書く．また，引用する人名は，原則として第一著者の姓のみを記し，敬称は付けない．その他を略して「……ら」とする．欄によってはこの限りではない．

2·11 図，表及び写真を使用する場合は，図 1，表 1，写真 1 などと本文中に明記し，本文中で挿入箇所を指定する．

2·12 構造式を使用する場合は，原則として〔I〕, 〔II〕, 〔III〕などと本文中に記し，本文中で挿入箇所を指定する．

2·13 図，表，写真各 1 枚は，目安として ，片段のおおよそ三分の一、500 字相当分とする．

4 表

4·1 表題，説明などは，すべて日本語とし，よく整理して分かりやすく書く．

4·2 脚注は， \*1 \*2 などを用いて表の下に書く．

4·3 本文原稿とは別にまとめる．

6 写真

6·1 表題，説明などは，すべて日本語とし，写真の下に書き入れる．

6·2 白黒で，コントラストの鮮明なものが望ましい．

6·3 本文原稿とは別にまとめる．

7 専門用語

最新の “学術用語集化学編”（文部省）または “分析化学用語集”（日本分析化学会編）参照．

8 化合物名

8·1 原則として IUPAC 命名法に従い日本語で書く．ただし，誤解のおそれがなく，理解しやすい場合には，元素記号，化学式を用いても差し支えないが，その際は一原稿中で統一する．

8·2 最新の “化合物命名法” (日本化学会標準化専門委員会化合物命名小委員会編) 参照．

9 物理量の記号，単位，数と数式

9·1 物理量の記号及びその使用上の規約は，なるべく IUPAC の勧告に従い，慣用のものでも最初に出てくる箇所でその定義を明示する．

9·2 単位は，できるかぎり国際単位系 (SI) を用いる．

9·3 数式は，本文文章中では (a+b)/(c+d) のように書く．ただし，式だけを別行に書く場合は，

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　

のような記載も可能とする．

9·4 物理量，単位，数及び数式については，最新の “「分析化学」投稿の手引き付記 A2 及びA3”（毎年本誌 3 号に掲載）並びに “「物理・化学量及び単位」に関する記号と術語の手引”（日本化学会標準化専門委員会編）を参照．

〔所属（明朝8pt）　氏 名（ゴシック8pt）〕